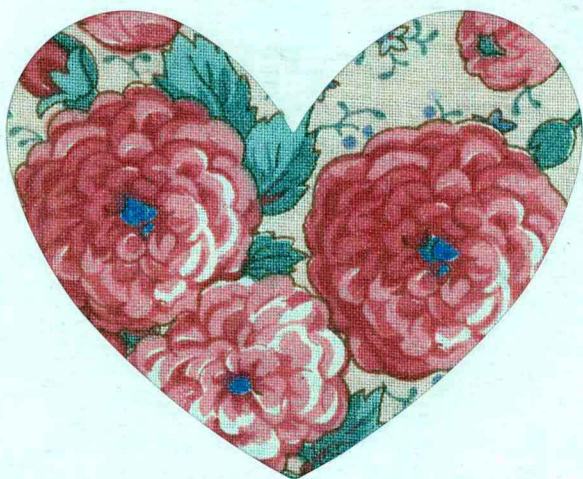


クリステン・ビヨンケア

愛の時代

津島佑子 訳 福井信子



KÆRESTESORG

KRISTEN BJØRNKJÆR

福武書店

ン・ビヨンケア

愛の時代

津島佑子 訳 福井信子

工業学院図書館
蔵書章



福武書店

Kristen Bjørnkjær; KÆRESTESORG
Copyright © Kristen Bjørnkjær 1976
Originally published in Danish under the title
'Kærestesorg' by Gyldendal.

クリステン・ビヨンケア

愛の時代

津島佑子 | 福井信子 訳

*

1990年11月15日第一刷印刷

1990年11月20日第一刷発行

発行者 福武總一郎

発行所 株式会社 福武書店 〒102 東京都千代田区九段南2-3-28

電話 東京 (03)230-2131 振替 東京 6-105097

印刷所 図書印刷

製本所 加藤製本

装幀 荒川じんぺい

©Yuko Tsushima, Nobuko Fukui 1990

Printed in Japan

~~定価~~ カバーに表示してあります

TBN 4 8288-2362-X C0097

NDC993 188 176p

落丁・乱丁本はお取り替えいたします

愛の時代

見てやってください この連中

奇妙なながめですよ みんなでゆうらゆうら

汗がひかる まぬけ面

鼻ときたら ほとんどむらさきいろ

これが世間のおつきあいというもの

パーティーと呼ぶひともいるんだぜ

ビールのコップでスナッパス^{*}をがぶのみする男

かたくなった肝臓が見えますな

ありきたりの肝硬変

コップのなかでよじれてひっくりかえり
しぶきをあげる肝臓

あの男のだね

——あいつ　口をあけて見惚れている
けれどそれはゆっくり腐りはじめ

ちいさくなって消えていく

酔っぱらいの目のなかの蜃気楼しんきろう

そして　テーブルのそばのひとりの女

そして　ソーセージやらパテをむしゃむしゃ

そして　おなかに詰めこんで

そして　血管のすみからすみまで

そして　心臓はコレステロールでいっぱい

甘草かんそうの根の色そっくりに

指が茶色に染まっている男

もちろん 煙草のニコチンのせいなのさ
その指できゅうりのピクルスをつまんで
古い傷あとを自分のほらに見つけたす

——こいつはなかなか

だれかにこれを見せてやろう

男は立ちあがる

ところがすぐ床にぼったり

女が男をそとにはこびだす

女のつば広のむぎわら帽子から

赤いリボンがひらひらひらり

よし 賭けをしようぜ

デンマークの平均的膀胱の

限界量は

何リットルか

ビールを飲みほすことに

マンドリンのようなふとい指で

もったいぶって書きつける

サインペンを

染みだらけの紙のテーブル掛けにはしらせる

男が床でぐうぐうたかいびき

心臓がすっぱり

脂肪につつまれている

若いふたりが夢中になって

その太鼓腹のうえでひとおどり

男の年とった御母堂は

ウオツカを一本まることがぶがぶと

一気飲みの新記録

血中のアルコール量はとくに制限値オーバー

でもどうってことはないのです

この御婦人　そもそも車の運転などできないのだから

げんきな脳細胞が

もうありやしない

そして葉巻ももう　なくなった

ひとつしかないトイレで

若い男がくたばっている

顔を使器につっこんで

やつは立ちあがれない

どろどろしたものが

体のなかからこみあげてくる

あら　またおさまった

だめだ　また来たぞ

今度はのどのところまで

煙草の吸いすぎなんだ

舌はすっかりまっしろ

頭のなかも まっしろ

うわっこんどは——ほんとに來やがった

わるい味じゃない のみこめるかな

でもまた体のなかにしずみこんでいく

そこからドアを乱暴にたたく音 もうがまんできない
列の先頭の男だ トイレの前で列はながくなるばかり

何時間も

ラブ・チェアで

見おぼえない男と話している女

そこに女の亭主がやってきて

男に強烈な一発

男はスローモーションでながれ星を見る
そして女は五度めの破局を見る

おやおや　ビンの投げあいのはじまった
みんなの吐きだす息と煙草のけむりで
目もかすみがち

ガシャンとビンが落ちてくだけ散る

こんなもの　なんでもないさ

と男が破片のうえを歩いてみせる

胸に毛のはえた大の男が

まったくもってばかばかしい

女たちが泣きながら

男を引きとめようとする

男は身をひねって上着からぬけだして
歩きはじめ——あれ　なんともないぞ

ちょっとした奇跡じゃないか

それならもうひとり だれかにやらせてみよう！

うんざり退屈しきっている連中もいる

隅にすわりこんで

まわりに聞こえるように大あくび　そしてひそひそぶつぶつ

ようし　おひらきだ

もっとおもしろいところに行こうぜ

もっといろいろなことが起こるところに

ほら　なんとかいいう酒場があっただけ

あそこなら夜明けまでひらいている

今夜はどうも　いや　たのしかった

がやがやコートを着こんで　そとに出ていく

* 普通はさかずきで飲むデンマークの焼酎。

*

汝 罪を犯すことなかれ

互いに信じあうべし

聖書のことば

でもぼくたちは信じなかった

信じたのは自分のことだけ

結局そうなってしまった

すべての悪は

そこからはじまった

ぼくたちは 町に追いたてられ

精神分析を自分でするはめになった

ぼくたち だれひとり

微笑もうかべなかった

ぼくたち　なにひとつ見せずに
たがいにもたれかかろうとした
どこにも　ねぐらがなかった

それでもぼくたちは　あいかわらず聖書を信じず
ほかのことばを見つけようとした
新鮮でおもしろそうなことばを

あいかわらず聖書を信じず
やりたいようにやっている

*

愛の物語はすでに飽和状態

めでたしめでたし　でいつも終わるとはかぎらない

感動的なおはなしでも結末はみじめそのもの
なみだ なみだのストーリー

つぶされた心臓がつぎつぎゴミ箱に捨てられる
だけどそんなことで ひとはへこたれない

何年もたてばもとどおり

それができなかったら自殺あるのみ

恋愛は心臓にわるいし

まわりをめちゃくちやにする

とはいえ どこかしらいいところもある

*

たがいをむさぼりあうように

つくられたぼくたち

無我夢中のかぞえきれないキスで

白い肌をかみあう

たがいをむさぼりあうように
つくられたぼくたち

生涯つづく

結婚というかたちで

*

もう若くもないふつか酔いのやつ
がそっとしのび寄ってくる
だれも呼んじやいないのに

*